

## II 市民生活

### 1 居住区

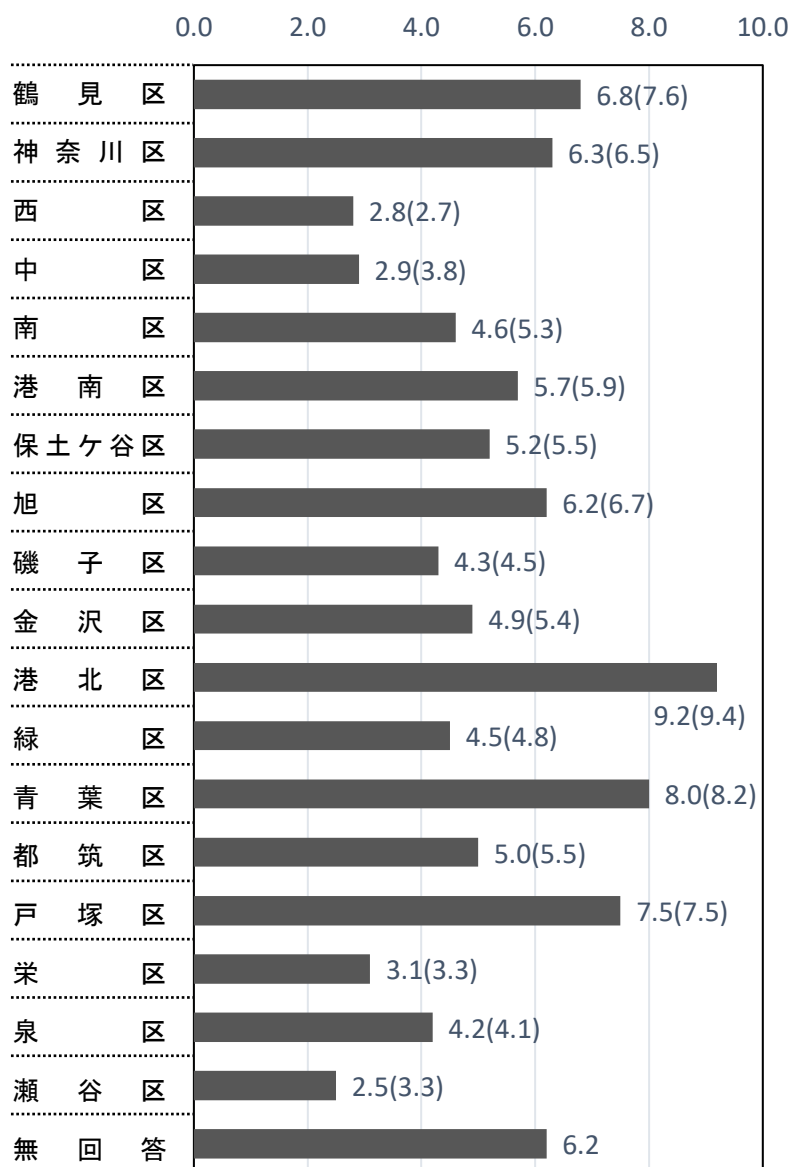
◇ 「港北区」が9.2%、「青葉区」(8.0%)、「戸塚区」(7.5%)、「鶴見区」(6.8%)で上位

問1 あなたがお住まいの地域は何区ですか。(○は1つだけ)

(n=2,452)

図表Ⅱ-1-1

(%)

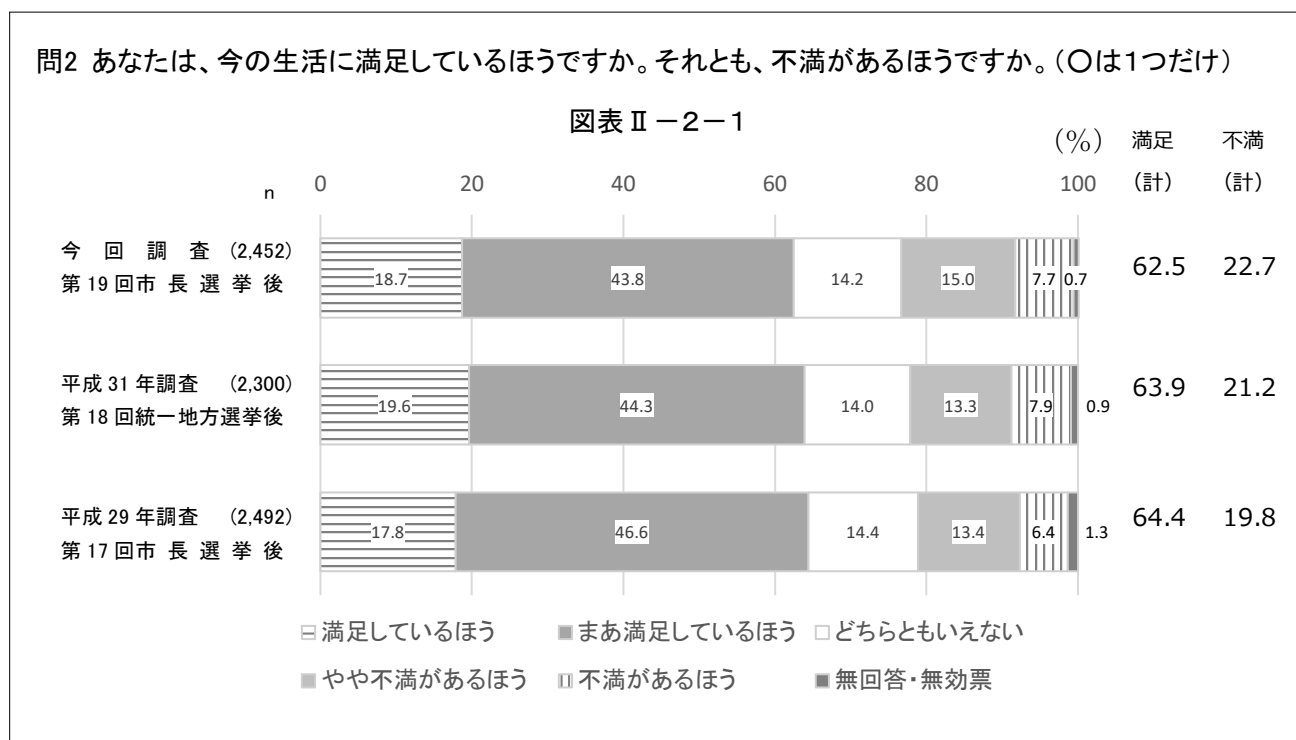


※ ( )内は、横浜市全体の有権者から算出した区ごとの有権者の比率

居住区について聞いたところ、「港北区」が9.2%と最も多く、次いで「青葉区」(8.0%)、「戸塚区」(7.5%)、「鶴見区」(6.8%)などの順になっている。一方「瀬谷区」が2.5%と最も少なく、次いで「西区」(2.8%)、「中区」(2.9%)などとなっている。これらは、区ごとの有権者の比率(グラフの中の( )内の数字)にほぼ対応している。(図表Ⅱ-1-1)

## 2 生活満足度

◇ 『満足』している人は 62.5%



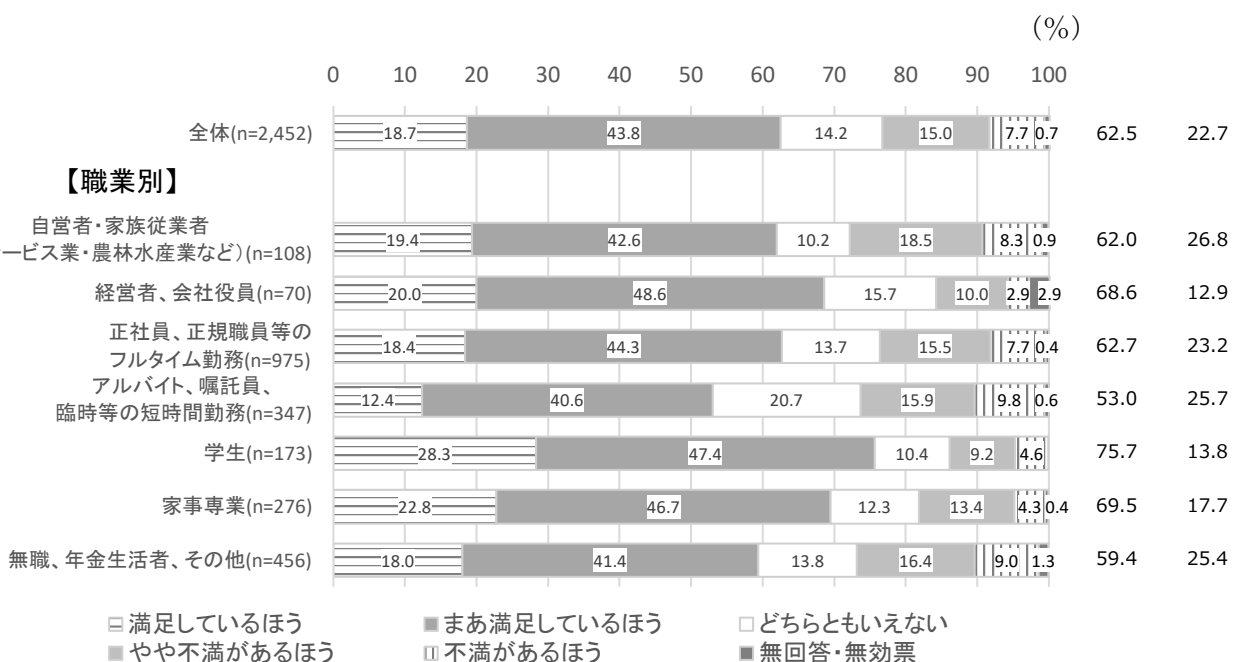
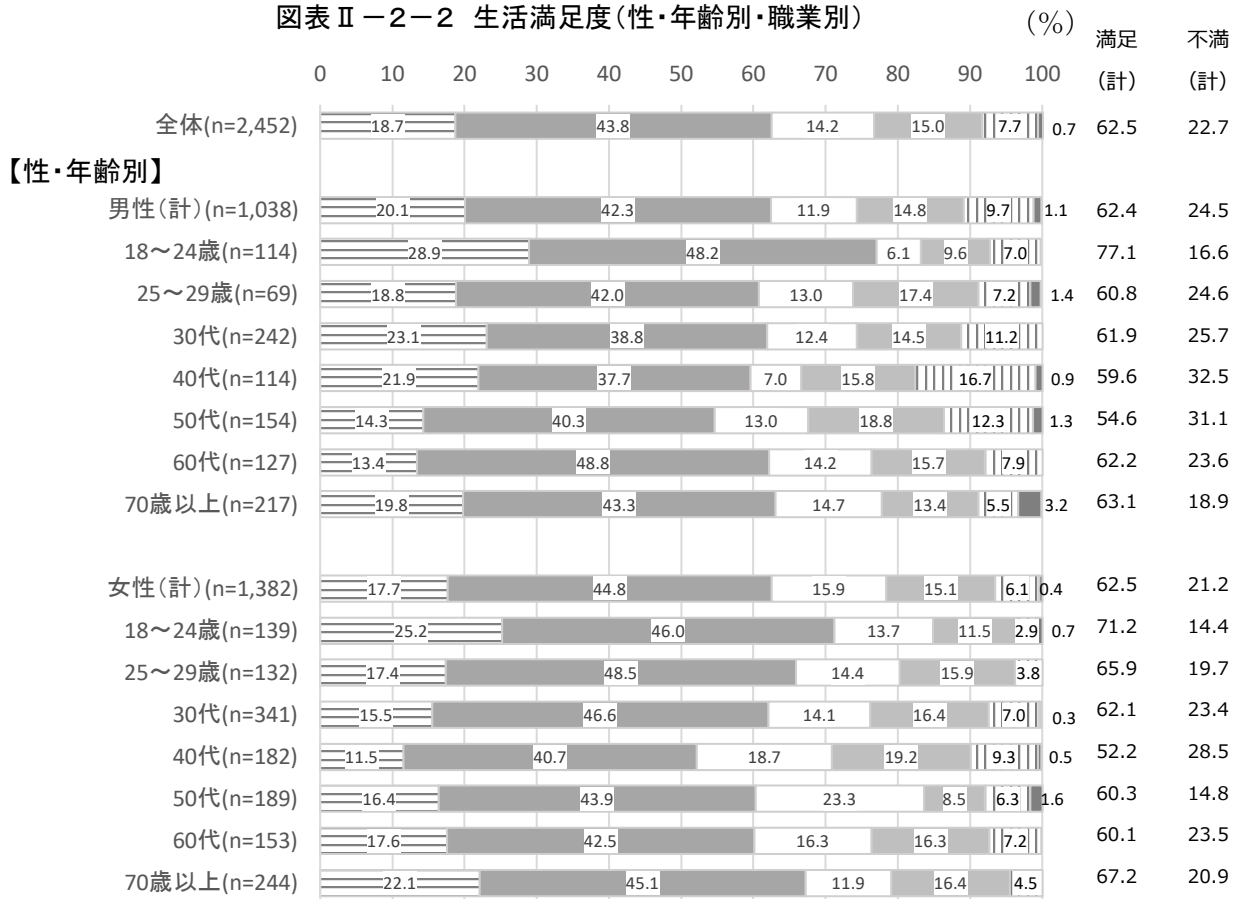
今の生活の満足度について聞いたところ、「満足しているほう」(18.7%)と「まあ満足しているほう」(43.8%)を合わせた『満足(計)』は62.5%となっている。一方、「やや不満があるほう」(15.0%)と「不満があるほう」(7.7%)を合わせた『不満(計)』は22.7%となっている。

平成31年調査(第18回統一地方選挙後)と比較すると、『満足(計)』(62.5%)は、前回(63.9%)より1.4ポイント減少している。(図表Ⅱ-2-1)

性・年齢別にみると、『満足（計）』は、『男性（計）』（62.4%）、『女性（計）』（62.5%）と6割以上となった。男女ともに18～24歳が最も多くなっており、男性では77.1%、女性では71.2%となった。『不満（計）』は、男女ともに40代が最も多く、男性では32.5%、女性では28.5%となった。（図表Ⅱ－2－2）

職業別にみると、『満足（計）』は、「学生」（75.7%）、「家事専業」（69.5%）、「経営者・会社役員」（68.6%）となっている。『不満（計）』は、「自営者・家族従業者」（26.8%）、「アルバイト、嘱託員、臨時等の短時間勤務」（25.7%）となっている。（図表Ⅱ－2－2）

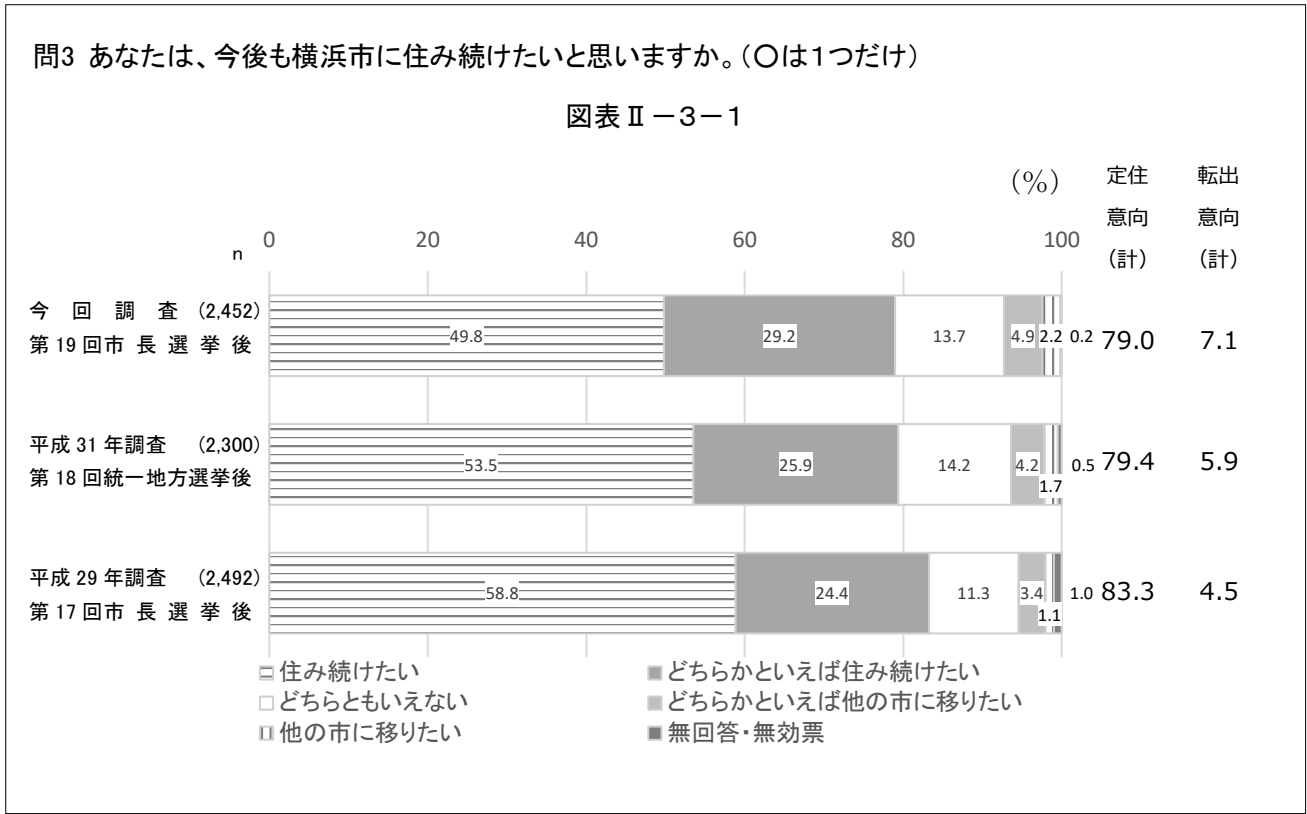
図表Ⅱ－2－2 生活満足度(性・年齢別・職業別)



□ 満足しているほう      ■ まあ満足しているほう      □ どちらともいえない  
 ■ やや不満があるほう      □ 不満があるほう      ■ 無回答・無効票

### 3 居留意向

◇ 定住意向は 79.0%



今後も横浜市に住み続けたいかについて聞いたところ、「住み続けたい」(49.8%)と「どちらかといえば住み続けたい」(29.2%)を合わせた『定住意向(計)』は79.0%となっている。一方、「どちらかといえば他の市に移りたい」(4.9%)と「他の市に移りたい」(2.2%)を合わせた『転出意向(計)』は7.1%となっている。

平成29年調査(第17回市長選挙後)及び平成31年調査(第18回統一地方選挙後)と比較すると、『定住意向(計)』はやや減少している。(図表Ⅱ-3-1)

区別にみると、『定住意向(計)』は、「中区」が91.5%で最も多く、次いで「神奈川区」(84.5%)、「金沢区」(84.0%)と続いている。(図表Ⅱ-3-2)

生活満足度別にみると、『定住意向(計)』は、生活に「満足しているほう」と感じている人ほど高く、「不満があるほう」と感じている人ほど低い割合となる傾向になっている。(図表Ⅱ-3-2)

図表Ⅱ-3-2 居住意向(区別・生活満足度別)

